

7、喫煙と健康 演習問題

___組 ___番 名前_____

○知識を定着させるために、演習問題を解いてみましょう！時間は___分間です。

○わからない部分は、友だちと考えてみたり、教科書を見たりして解いてみましょう。

問題1 次の文の()にあてはまる語句を語群から選び、記号で答えなさい。

たばこの煙にはさまざまな有害物質が含まれており、喫煙することにより、肺などから吸収され全身に回ります。たとえば、(①)は、毛細血管を収縮させ、心臓に負担をかけたり、肌に悪影響を与えたりします。(②)は、そのなかに含まれるさまざまな化学物質によりがんを引き起こします。(③)は、体内での酸素の運搬を妨害し、運動能力などに悪影響を与えるほか、心臓病などを起こしやすくするといわれています。それらの害のなかには、がんのように長期間の喫煙により起こるものもありますが、肌や(④)への影響のように吸い始めて間もなくあらわれるものもあります。これらの害は、喫煙を始める年齢が若ければ若いほど大きくなります。

たばこの煙は、喫煙者の周囲にいる人も吸いこみます。これを(⑤)といい、その影響は、目や鼻やのどに生じる苦痛だけではありません。たとえば、夫が喫煙者の場合、たばこを吸わない妻の(⑥)による死亡の可能性が高くなり、両親ともに喫煙者の場合、乳幼児の(⑦)の可能性が高くなります。また、妊婦が喫煙すると早産や(⑧)などの可能性が高まります。喫煙の害は、個人の健康にとどまりません。喫煙による病気や死亡のため、医療費の(⑨)や貴重な労働力の(⑩)など、社会全体に大きな悪影響を及ぼしています。

<語群>

ア.一酸化炭素 イ.運動能力 ウ.損失 エ.受動喫煙 オ.タール カ.増大 キ.突然死 ク.肺がん
ケ.ニコチン コ.流産

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

問題2 次の文で正しいものには○、間違っているものには×を書きなさい。

- ①自分の意志とは関係なくたばこの煙を吸わされることを受動喫煙という。
- ②ニコチンは、毛細血管を収縮させ、心臓に負担をかけたり、肌に悪影響を与えたりする。
- ③タールは、そのなかに含まれるさまざまな化学物質によりがんを引き起こす。
- ④夫が喫煙者でも非喫煙者でも、非喫煙者である妻の肺がん死亡率に影響はない。
- ⑤わが国では、自動販売機によるたばこの販売を一切禁止するなどの対策が、すでにとられている。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

問題3 次の各問いに答えなさい。

[問1]自分の意志とは関係なくたばこの煙を吸わされることを何というか、書きなさい。

[問2]たばこ煙中の有害物質である「ニコチン」について、簡単に説明しなさい。

[問3]たばこの煙には、喫煙者が吸う主流煙、喫煙者が吐き出す煙(呼出煙)、たばこの点火部から立ちのぼる副流煙の3種類がある。このうち、もっとも有害物質が含まれているのはどれか。

問題4 次の各問いに答えなさい。

[問1]「たばこ規制枠組条約」は、たばこによる健康被害を防止するために各国が協調して規制をおこなうことを求めた国際条約である。その条約にもとづいて、具体的にどのようなことが行われているか、書きなさい。

[問2]「健康増進法」の制定によって、「喫煙」に関してどのような対策がとられているか、書きなさい。

問題5 たばこの包装には、健康警告表示がある。下の警告文の例を参考にして、あなたの考える喫煙に関する警告文を1つ書きなさい。

＜現在使われている警告文の例＞

- ・喫煙は、あなたにとって脳卒中の危険性を高めます。
- ・人により程度は異なりますが、ニコチンにより喫煙への依存が生じます。

●考えてみよう!!

次の記事、『日本は喫煙天国？海外から見ると考えられない日本のクレイジーなタバコ事情とは。(Jobbyより抜粋)』を読み…

A → この記事を読んでみての感想を記入しましょう。

B → 喫煙天国と言われる日本において、喫煙や受動喫煙による健康被害を減らすために社会全体でどのようなことをする必要はあるか、あなたの考えを記入してみましょう。

C → 喫煙天国と言われる日本において、喫煙や受動喫煙による健康被害を防ぐために個人でどのようなことができるか、あなたの考えを記入してみましょう。

公共の場で喫煙を許されているのは日本だけ？

日本へ来る外国人が、これには必ずと言っていいほどびっくりします。日本以外のほとんどの先進国では、レストラン、カフェ、バー、クラブなどを含めた飲食店内での喫煙は禁止されており、喫煙者は席を外し屋外へタバコを吸いに行くのです。例えばニューヨークやサンフランシスコでは、オフィスビルなどの職場も含め、室内では全面禁煙が義務付けられており、違反した場合にはもちろん罰金が課されます。また近年ではアメリカ国内で全室禁煙のホテルやアパートまでもが増えてきており、その世界的禁煙ブームの中、日本のレストランで非喫煙者が食事しているすぐ横で喫煙者がタバコを吸う光景などは、他国から見ると考えられないようです。バーやクラブでもお酒と一緒にタバコが吸えるなんて、外国人観光客の喫煙者にとっては、日本はとても喫煙者に優しい国であると言えます。しかし、この状況は日本を訪れる海外の非喫煙者にすれば、決して好まれる環境ではありません。海外でどんどん進む禁煙ブームを考慮し、国内でも2020年東京オリンピックの開催前に東京都内の飲食店などを全面禁煙化にする制定の可能性が高まっています。



日本のタバコ、喫煙対策する気ある？①

○日本のタバコは安い！

日本のタバコは海外のタバコと比べるとまだまだ税率も低く、かなり安いと言えます。例えば世界でも最も高いと言われているオーストラリアのタバコは、2017年現在で一箱約28豪ドル(約2,300円)です。またオーストラリア政府は2017年から4年間、毎年12.5%のたばこの増税を発表し、2020年には約40豪ドル(約3,200円)にまで上がる予定です。またその他の多くの先進国、ニュージーランド、ノルウェー、イギリス、フランス、アイスランド、カナダ、フランス、スイス、スウェーデン、いくつかのアメリカ合衆国の州でも、すでに一箱1000円を上回っており、これからもさらに上昇していく傾向にあります。

